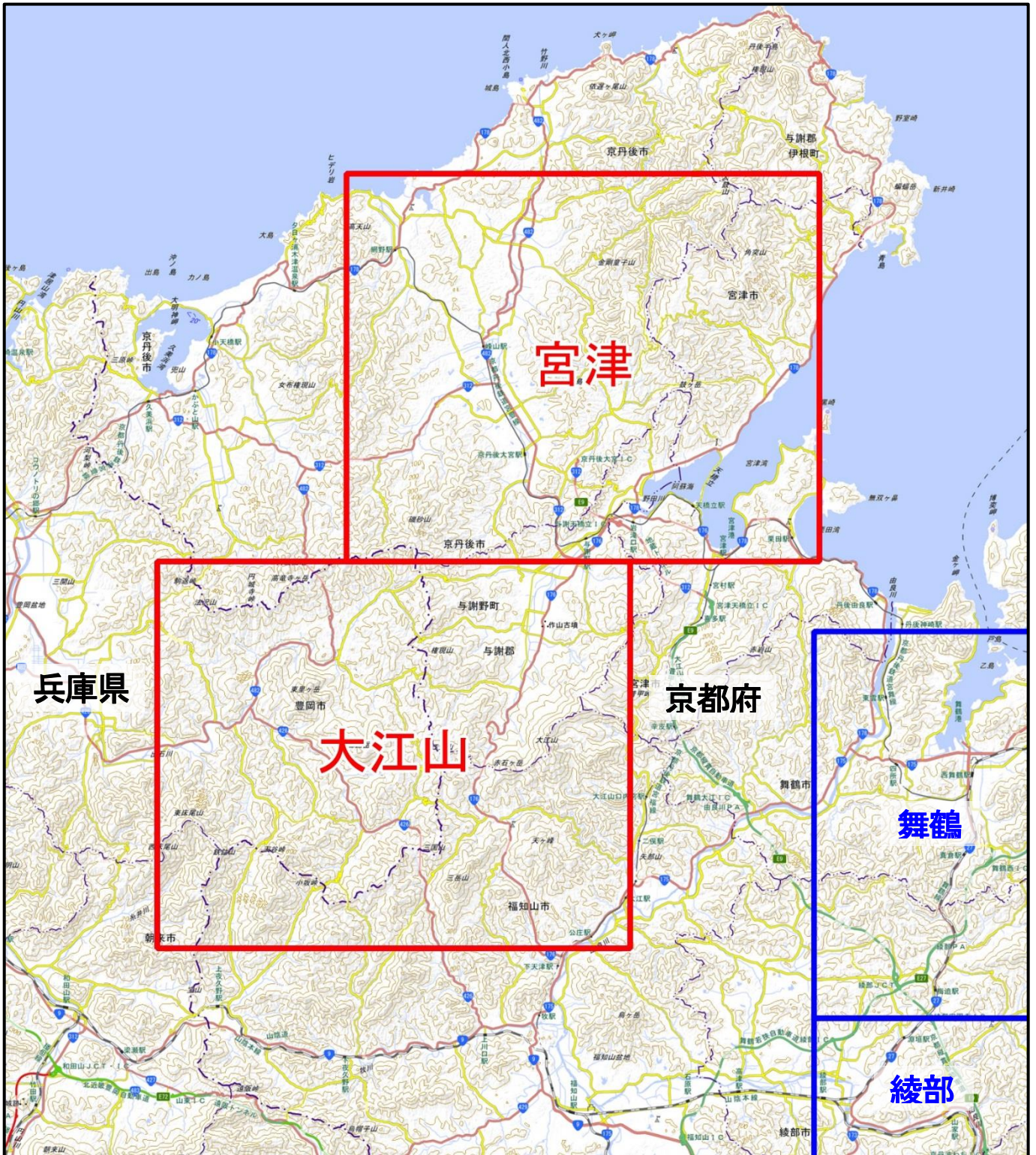


1:25,000 活断層図「宮津」「大江山」



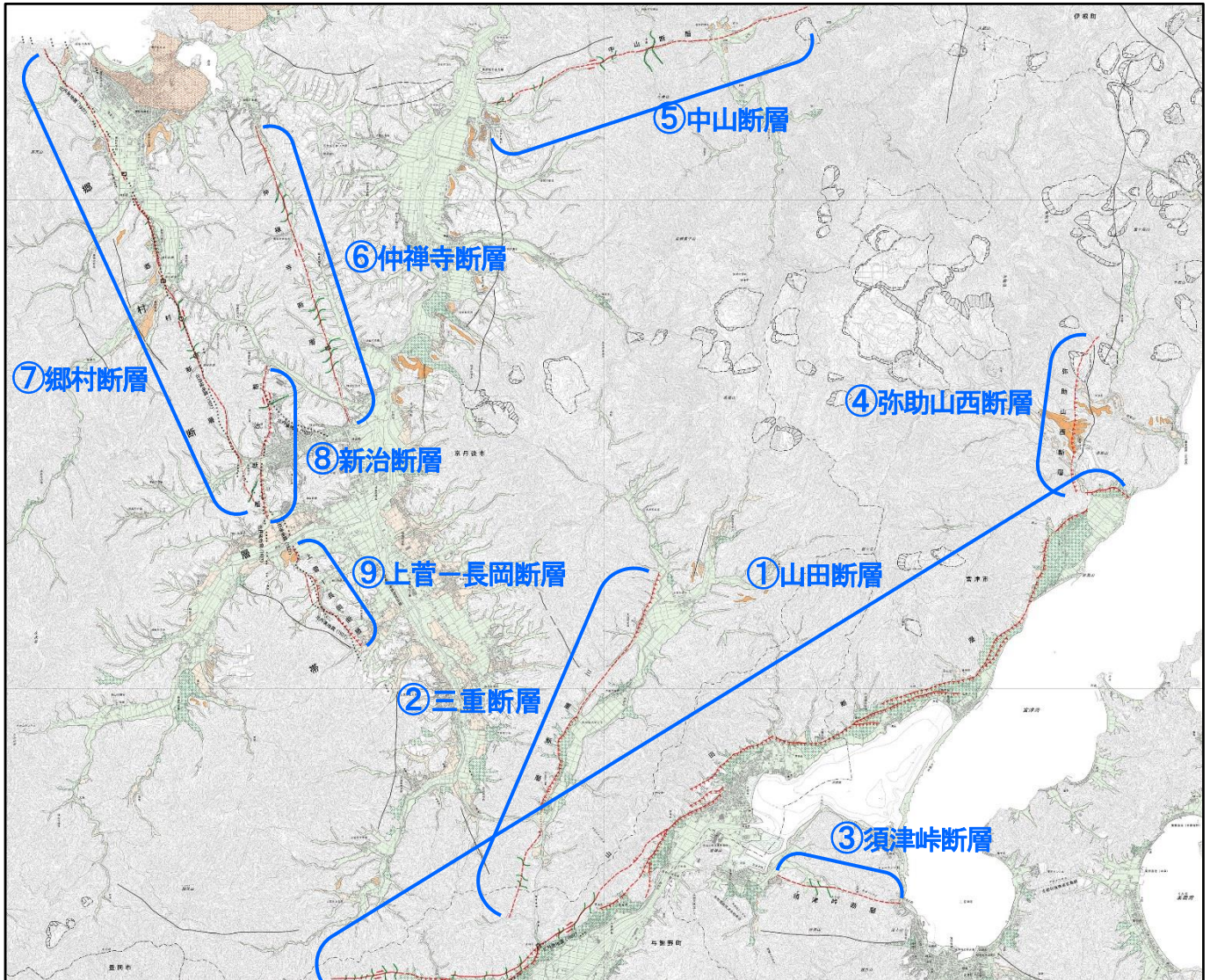
公開図郭



整備済図郭

# 概要

## 1. 1:25,000 活断層図「宮津」



## 2. 今回の調査で得られたこと

「宮津」図葉には、山田断層約 18km、三重断層約 7km、須津峠断層約 2km、弥助山西断層約 3km、中山断層約 6km、仲禅寺断層約 6km、郷村断層約 10km、新治断層約 3km、上菅一長岡断層約 2km とその他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	山田断層	宮津市日置付近から与謝野町上山田の西方まで全体的に東北東から南南西に延びる約 18km の右横ずれ*を主体とした北西側隆起（南東落ち）の変位を伴う活断層です。複数の分岐断層が交差、並走し、断層が通る複数の扇状地上で断層崖が認められます。断層の南西域では変位による谷の右屈曲が確認できます。また、本図内の断層の南西域では、北丹後地震(1927)に伴う地震断層が出現したことが報告されています。	約 18km

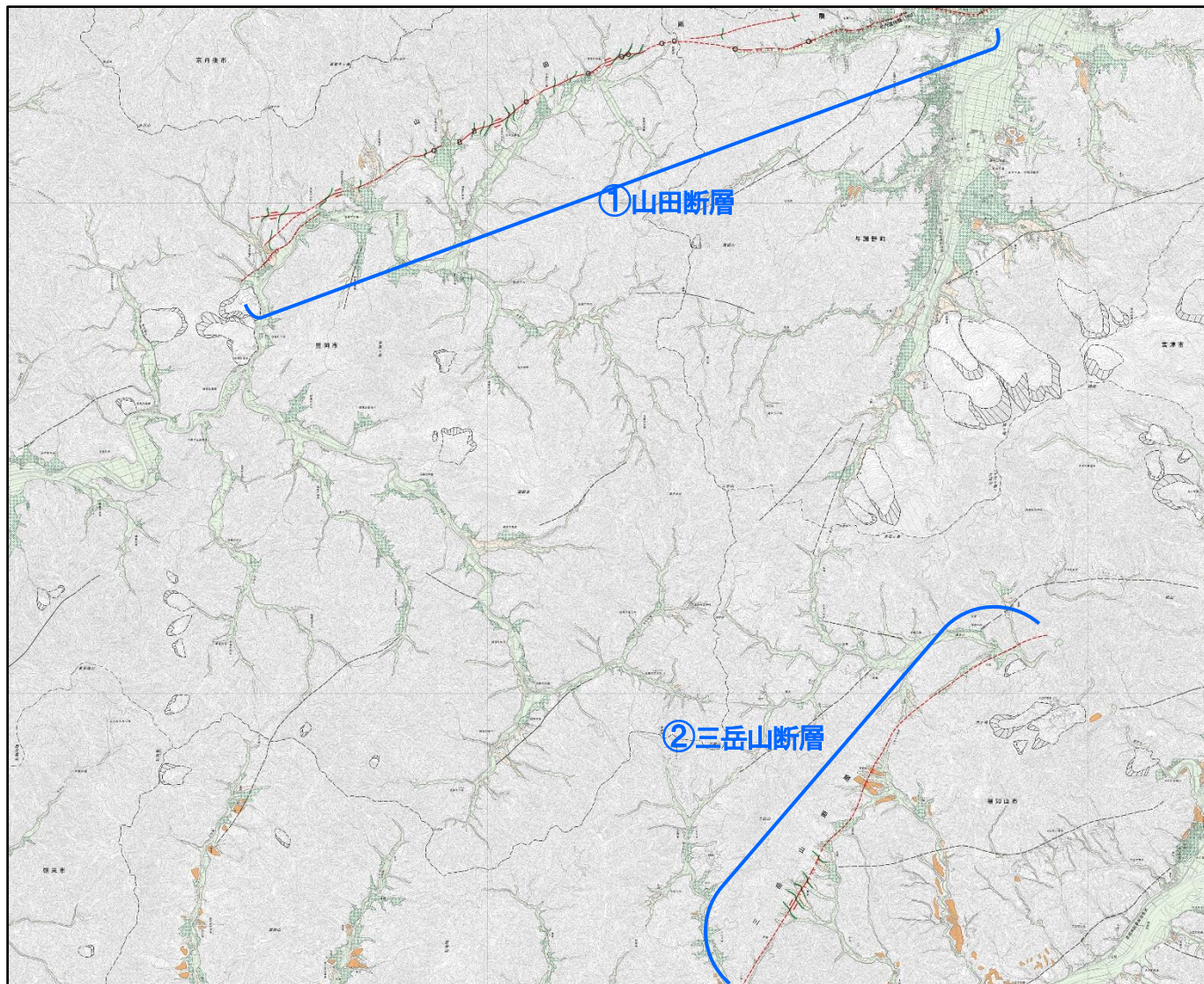
②	三重断層 みえ	宮津市大宮町延利付 <small>のぶとし</small> 近から同市上山田付近まで、北北東から南南西に延びる約 7km の北西側隆起（南東落ち）の変位を伴う活断層です。断層の南端部では変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 7km
③	須津峠断層 すつとうげ	宮津市須津から須津峠を越えて同市漁師付 <small>りょうし</small> 近まで東西に延びる約 2km の活断層です。断層中央付近に変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 2km
④	弥助山西断層 やすけやまにし	宮津市奥波見 <small>おくはみ</small> から同市日置付 <small>ひおき</small> 近まで南北に延びる約 3km の全体的に西側隆起（東落ち）の変位を伴う活断層です。	約 3km
⑤	中山断層 なかやま	京丹後市吉野付近から同市弥栄町黒部 <small>やさかちよう</small> まで、ほぼ東西方向に延びる約 6km の右横ずれ*の変位を伴う活断層です。	約 6km
⑥	仲禅寺断層 ちゆうぜんじ	京丹後市網野町島津 <small>しまづ</small> から同市峰山町丹波 <small>たんば</small> まで北西から南東に向かって直線状に延びる約 6km の左横ずれ*の変位を伴う活断層です。断層線上に変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 6km
⑦	郷村断層 ごうむら	京丹後市網野町沿岸 <small>あみのちよう</small> から同市峰山町新治 <small>にんぼり</small> 付近まで、ほぼ北北西から南南東に延びる約 10km の左横ずれ*を主体とし、南西側隆起（北東落ち）の変位を伴う活断層です。断層中央部では変位による谷の左屈曲が確認できます。また、断層線に沿って北丹後地震(1927)に伴う地震断層が出現したことが報告されています。	約 10km
⑧	新治断層 にんぼり	京丹後市峰山町赤坂付近から同市峰山町新治 <small>にんぼり</small> まで、ほぼ南北に延びる約 3km の左横ずれ*を主体とし、西側隆起（東落ち）の変位を伴う活断層です。また、断層全体に北丹後地震(1927)に伴う地震断層が出現したことが報告されています。	約 3km
⑨	上菅一長岡断層 かみすげ ながおか	京丹後市上菅付近から同市峰山町長岡を經由して、同市大宮町善王寺 <small>ぜんおうじ</small> 付近まで北西から南東に延びる約 2km の全体的に西側隆起（東落ち）の変位を伴う活断層です。また、断層全体に北丹後地震(1927)に伴う地震断層が出現したことが報告されています。	約 2km

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「\*」は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照

# 概要

## 1. 1:25,000 活断層図「大江山」



## 2. 今回の調査で得られたこと

「大江山」図葉には、<sup>やまだ</sup>山田断層約 15km、<sup>みたけさん</sup>三岳山断層約 9km とその他の推定活断層を表示しています。表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	<sup>やまだ</sup> 山田断層	<sup>よさのちようよつじ</sup> 与謝野町四辻から <sup>たんとうちょうからかわ</sup> 豊岡市但東町唐川まで分岐断層を伴いながら北東から南西に延びる約 15km の右横ずれ*を主体とした、北側又は北西側隆起（南又は南東落ち）の変位を伴う活断層です。断層全体に変位による谷の右屈曲が確認できます。また、本図内の断層の北東端では、北丹後地震(1927)に伴う地震断層が出現したことが報告されています。	約 15km

②	<small>みたけさん</small> 三岳山断層	福知山市 <small>にいね</small> 荷稻付近から同市一ノ宮まで、北東から南西に延びる約 9km の右横ずれ*を主体とした、西側隆起（東落ち）の変位を伴う活断層です。断層南西部では変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 9km
---	-------------------------------	---	-------

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「\*」は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照